

令和3年度 第1回 宇和島市環境審議会 議事概要

開催日時：令和3年7月13日（火）13：00～14：50

開催場所：宇和島市役所3階 304会議室

出席者：【別添一覧表】のとおり（傍聴者なし）

審議事項：宇和島市環境基本計画策定の骨子(案)について

議事概要：以下のとおり

-
- ・事務局による開会の宣言後、委員14名全員の出席により、審議会が有効に成立していることを報告。
 - ・市長よりあいさつ。（※市長はその後退席）
 - ・事務局より審議会の概要説明と出席者の紹介。
 - ・出席委員からの推薦により、日前委員を会長に選任提案。異議なし。
 - ・日前会長を議長として、議事進行。
 - ・議事録を市HP上で公開することを説明。異議なし。

《 審議 》 環境基本計画策定の骨子(案)について

- ・事務局より宇和島市環境基本計画策定の概要について、資料をもとに説明。
委員からの質疑、意見陳述なし。
- ・事務局より計画策定における市の重要課題について、資料をもとに説明。
委員からの質疑、意見陳述あり。下表のとおり。

海洋プラスチックごみ対策・プラスチックごみの削減について	
A委員	海岸清掃で回収した発泡スチロールを処分する具体案はあるのか。
事務局	環境センターで処理できないものは、これまでどおり産業廃棄物処理施設で処分されることとなるが、一時的に保管できる場所があれば効率よく運用できるようになる。そういった仮置き場所を整備したいと考えているが、具体案はこれからの検討となる。
B委員	海洋プラスチックごみ対策やプラスチックごみの削減等について、行政の立場で技術的なビジョンやスキームはあるか。
事務局	現時点では、具体的に決まったことは無いが、今後プラスチックのリサイクルは必要と考えている。現状、広域1市3町の枠組みで焼却施設を運用しており、プラスチックを含むごみの熱量を利用して発電しているが、プラスチックの原料リサイクルを進めていくと、施設の

	<p>運用に影響が出る可能性がある。また、プラスチックのリサイクルについても1市3町の枠組みの中で検討が必要となる。</p> <p>海洋プラスチックごみ対策については、漁業者やボランティアの協力のもとに回収しているが、担い手の減少などもあり、回収が追いつかない。市全体で取り組むための仕組みを検討していきたい。</p>
B委員	<p>海洋プラスチックは漂着ごみのような可視化できる物だけではないと思う。また3年前の豪雨災害でも大量の生活物品が海へ流出した。海流等に乗って広範囲に流出していることも心配され、動物や魚類への影響も多大と思う。情報収集も含めて、新たな技術や知見の創出や、いろんな意見を集約して、市民に開示できるように検討頂きたい。</p>
事務局	<p>昨年度の県の調査を参考にしながら、新たな調査ができないか考えていきたい。</p>
C委員	<p>いろんな環境問題があるなかで、農林課とか他の部署と連携の上で施策を考えられているのか。</p>
事務局	<p>環境基本計画は全庁的に取り組むべきものとして、今年の4月から、関係する部署が集まってプロジェクトチームを立ち上げている。いろんな意見を聞きながら計画を練り上げていこうと考えている。</p>

リサイクルの推進・食品ロスの削減について
疑義・意見なし

その他廃棄物の減量と散逸防止・環境教育、行動啓発について	
B委員	<p>子どもたちへの教育が重要だと思う。幅広く知見を持っている人材の登用を考えて欲しい。また、授業だけでなく、今回の計画についても、任意の方々を登用してワークショップなど、様々な視点を取り入れるような趣旨で進めて頂きたい。</p>
事務局	<p>当課においても小学校や中学校へ出前講座を行っているが、そういったものを広げていくとともに、有識者に同行して頂くなど新たな取り組みができないか検討していきたい。</p>
D委員	<p>小中学校の教育も重要で、様々な領域で活動している方の参加により子どもたちの教育の幅を広げることは意義があると思う一方、教育現場においては環境に関する学習機会があるので、我々の世代よりも分かっていることが多くて驚く。むしろ親の世代の方が、分かって行動するために、分かるきっかけ、環境教育に接する機会が増えたらいいと思う。</p>
E委員	<p>市内の各学校においても、学年に応じたSDGsの教育を実施していることと思う。これからもっと子どもたちの教育も頑張ってやっていきたい。</p>

事務局	ワークショップなどの新たな学びの場の創設や、年代を問わず市民が学べる環境づくりができたらいいなという趣旨で、内容を検討していきたい。
-----	--

その他の重要な環境課題、SDGsの現実、2050年カーボンニュートラル実現、再生可能エネルギーの導入推進について

F委員	<p>山を削って太陽光を設置するのは環境破壊ではないか。人工物の上以外には作らせないのが当たり前。再エネの普及のために各家庭がコストを負担するのは疑問。風力発電も設備が巨大で、設置費用を考えたら、環境を名目として市民の負担が増加する政策ばかり進んでいるような気がして納得し難い。</p> <p>また、SDGsの14番で、天然の稚魚を採って養殖することは持続可能ではないということで、今後認められない可能性がある。そうになると食物連鎖への影響が大きいのではないかと個人的に懸念している。SDGsはヨーロッパ中心の考え方であり、養殖の最先端である日本の話はどうなっているのか疑問である。</p> <p>マイ箸も善し悪しで、環境と言えれば何でも許されるという風潮は個人的に危惧している。</p>
B委員	<p>風力発電の資材は多くが外国製で、二酸化炭素を排出して国内まで運んできているが、そのことはあまり周知されていない。</p> <p>太陽光発電も木を伐採して設置されているのは問題視されており、動植物との一体化も難しいと思うし、受益者負担のことなど整理が必要かと思う。</p> <p>SDGsは技術的な論拠がなければ先に進めない。脱炭素を目指す国の施策を達成することは厳しいと思うが、地域のマイクロ発電など、いろんな視点を持ったスキームを検討して頂きたい。</p>
G委員	<p>2050年カーボンニュートラルの実現については、住宅の観点から言えば、現在建っている家がエネルギーを自給できているかと言うとそうではなく、太陽光発電の買取価格も下がって設置する住宅が少なくなっていると思われるため、厳しいと思う。</p> <p>また、ウッドショックで外材が入らない問題があるが、そもそも南予の産材を使って地元業者様で家を建てるのが環境に良いはず。</p> <p>カーボンニュートラルの話と地域経済のことも考えて、例えばリフォーム補助なんかもあるが、環境に紐付けた制度にするようなお金の使い方をすればいいと思う。</p> <p>宇和島市は人口が減っているなので、この地域周辺ではおそらく今後も温暖化は進まない。ごみの問題は外部に起因することなので、温暖化対策の議論よりも、自分たちがいかに幸せに暮らせるかという視点で議論することが大事ではないか。</p>

B委員	蓄電技術の向上に期待している。また昼間の太陽光を利用した間接照明や曇天の際の太陽光発電を補う考え方などを盛り込んだ方策を検討し、周知することが大切だと思う。
A委員	内子町では生ごみの堆肥化を行っているが、宇和島で計画はないのか。
事務局	宇和島市では島しょ部で生ごみ処理を行っているが、設備が経年による老朽化を迎えつつあり、家庭用生ごみ処理機への移行など、処理体制については総合的に判断して運用していきたい。
B委員	我々は竹の有効活用を検討している。竹は成長が早い。放置竹林は有害鳥獣の温床となっているが、循環の絵が描ければ諸問題の解決にも繋がる。そういうことも含めて、多目的な問題解決を目指して頂きたい。

公共建築物の省エネ、再エネ化・電気自動車等の普及促進・鳥獣害について	
G委員	コウモリが我が家の壁にへばりついている。糞がすごい。
B委員	餌があるからではないか。多様性の面から言えば別だが、人的な被害は対応が難しい面があるので、アイデアが必要だと思う。 電気自動車は2輪車や3輪車もある。これらの性能を精査し、地域に有用なモデルを抽出いただきたい。地元の企業や市民が活用したり、潤うような施策を盛り込んで頂いたらありがたい。

- ・事務局より市民向けアンケート調査の実施結果について、資料をもとに説明。

委員からの質疑、意見陳述あり。下表のとおり。

B委員	設問の設定がネガティブな方向にしている印象。もっと笑顔が浮かぶような、問題解決への意欲が湧くような設問を、次回機会があれば設定して欲しい。
F委員	海洋ごみの問題は、大きな課題と認識している。家電リサイクルのように漁具の廃棄時にお金を徴収するか、事前に処分費用を含めて販売する方法しかないのでは。宇和海を中心に愛媛、高知、大分、宮崎の各地から海洋ごみが出てくると思うし、広島のカキ養殖に使うパイプが島しょ部の海岸に大量に漂着している。県を超えた対策を宇和島市から率先して頂きたい。

- ・議長より、環境基本計画策定の骨子(案)を了承することについて確認。異議なし。

- ・事務局による閉会の宣言。散会。